

第136回 岐阜市管内景況調査報告書(平成26年4～6月期)

【調査要領】

- 1 対象期間 平成26年4～6月、平成26年7～9月期の見通し(平成26年6月1日時点の調査)
- 2 調査方法 岐阜商工会議所経営支援員の実訪による
- 3 調査対象 岐阜市内の中小企業105社(回答数92社、回収率87.6%)
- 4 D I 値 景気動向を現す景気早見表 (「増加・好転」－「減少・悪化」)

管内景況の概要(業種全体)

今期(平成26年4～6月期)の管内中小企業の景況を見ると、経常利益、資金繰りでマイナス幅が縮小。
来期(平成26年7～9月期)の景況予想についても、今期同様改善は見込まれず経常利益、資金繰りは
マイナス幅が拡大し悪化傾向となる。

全業種

	(前年同期比)					
	業況判断	売上額	在庫	経常利益	資金繰り	従業員
25年 4～6実績	△ 18.6	△ 15.8	△ 13.5	△ 25.6	△ 22.8	1.4
7～9実績	△ 27.3	△ 20.5	△ 22.0	△ 32.5	△ 19.2	3.1
10～12実績	△ 23.1	△ 33.3	△ 13.7	△ 33.8	△ 16.0	△ 4.3
26年 1～3実績	△ 23.3	△ 23.0	△ 10.9	△ 30.1	△ 17.4	△ 4.6
4～6実績	△ 30.7	△ 30.7	△ 19.2	△ 25.6	△ 12.1	△ 12.3
7～9予想	△ 28.8	△ 22.6	△ 11.1	△ 33.3	△ 16.4	△ 3.1

1. 業況

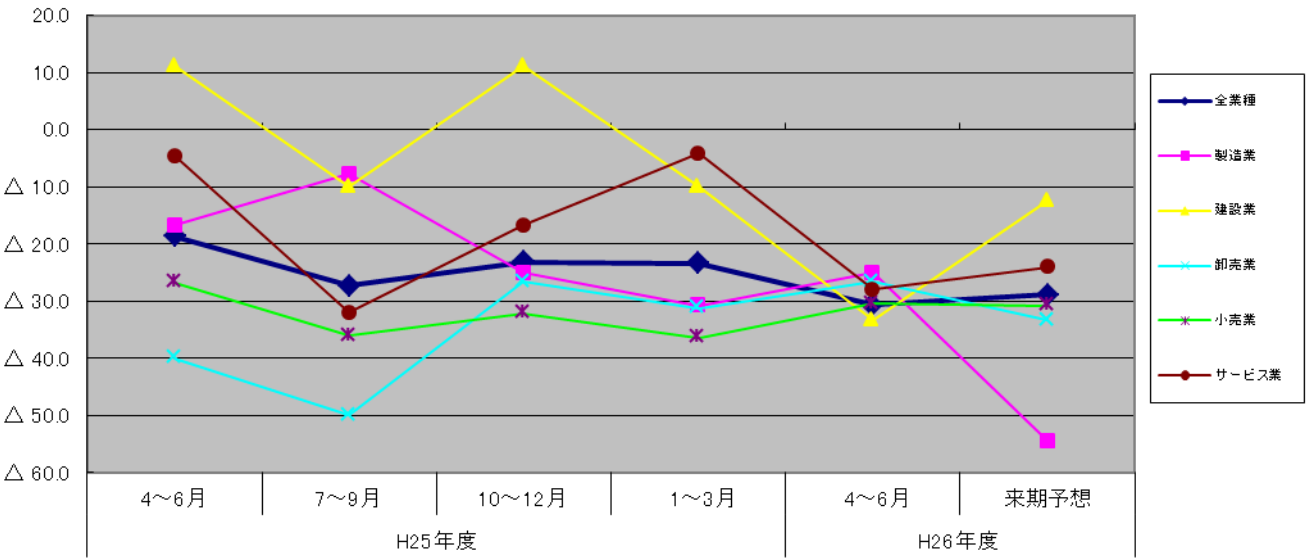
全業種の DI 値は、△30.7と前期(△23.3)に比べると7.4ポイントマイナス幅が拡大した。来期はマイナス幅が縮小する見通し。

業種別でみると、製造、卸、小売業で回復したが、建設、サービス業ではマイナス幅が大幅に拡大した。

業況判断DI(「好転」－「悪化」)				(前年同期比)	
	H25年 4～6月	7～9月	10～12月	H26年 1～3月	H26年 4～6月 来期予想
全業種	△ 18.6	△ 27.3	△ 23.1	△ 23.3	△ 30.7 △ 28.8
製造業	△ 16.7	△ 7.7	△ 25.0	△ 30.8	△ 25.0 △ 54.5
建設業	11.1	△ 10.0	11.1	△ 10.0	△ 33.3 △ 12.5
卸売業	△ 40.0	△ 50.0	△ 26.6	△ 31.2	△ 26.6 △ 33.3
小売業	△ 26.7	△ 36.0	△ 32.1	△ 36.4	△ 30.4 △ 30.8
サービス業	△ 4.6	△ 32.0	△ 16.7	△ 4.2	△ 28.0 △ 24.0

業況判断DIの動向(好転－悪化)

(前年同期比)

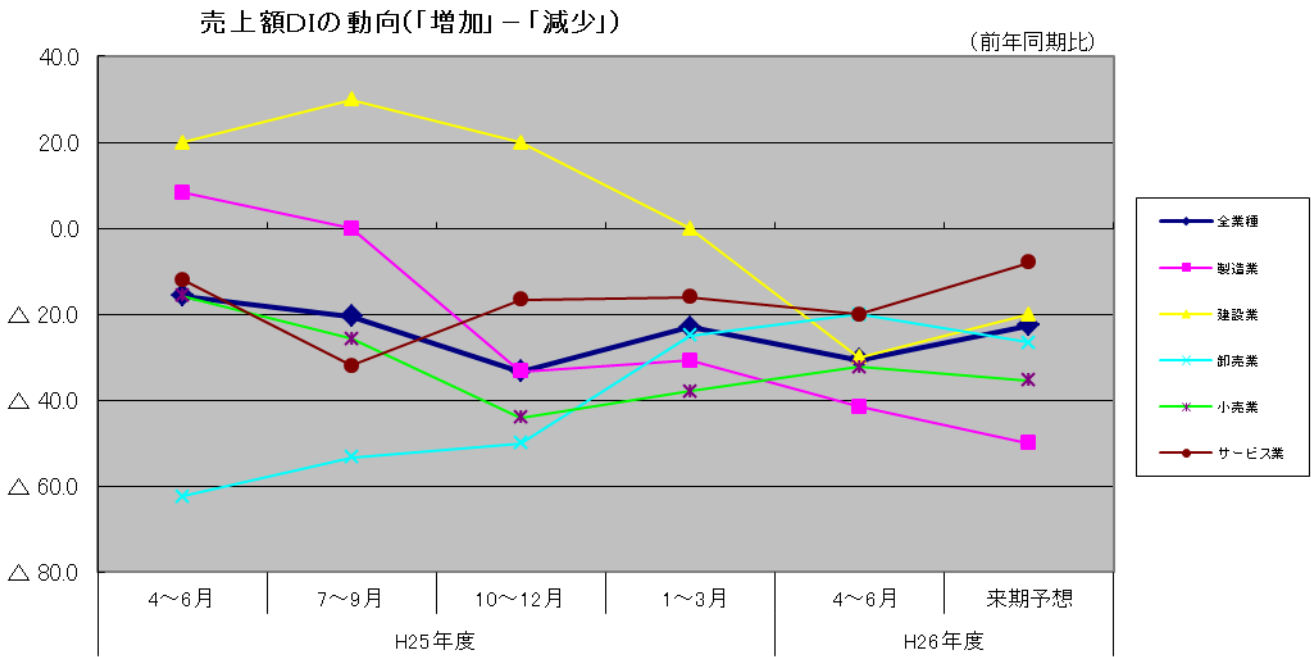


2. 売上(加工)額

全業種の DI 値は、△30. 7と前期(△23. 0)に比べ7. 7ポイントマイナス幅が拡大した。来期は、若干好転の見通し。

建設業、製造業、サービス業では、マイナス幅が拡大。製造業に関しては来期も下げ幅が大きく再びマイナス局面となった。

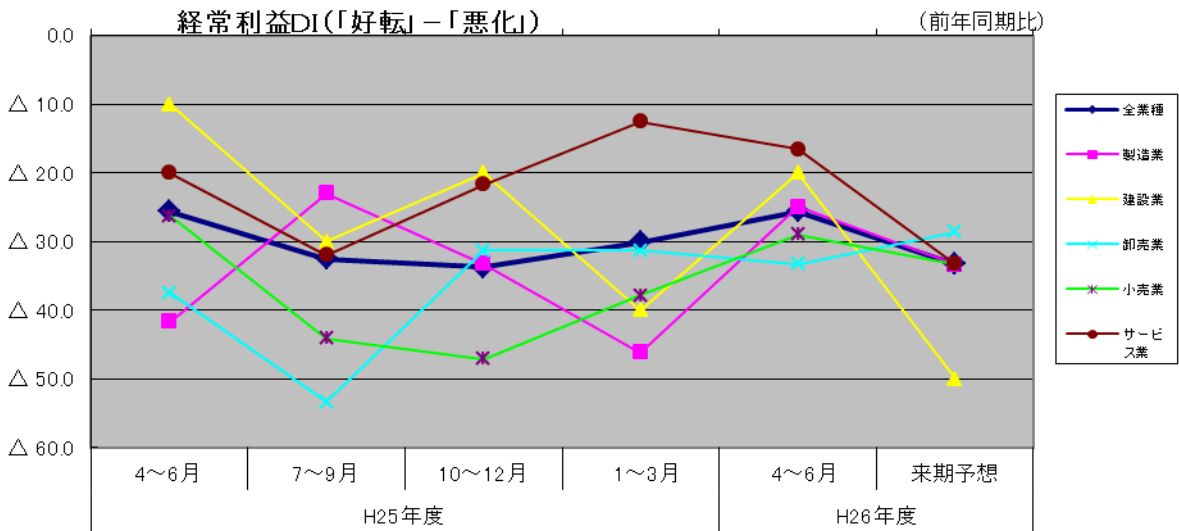
売上額DI(「増加」-「減少」)				(前年同期比)		
	H25年			H26年	H26年	
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	来期予想
全業種	△ 15.8	△ 20.5	△ 33.3	△ 23.0	△ 30.7	△ 22.6
製造業	8.3	0.0	△ 33.3	△ 30.8	△ 41.6	△ 50.0
建設業	20.0	30.0	20.0	0.0	△ 30.0	△ 20.0
卸売業	△ 62.5	△ 53.4	△ 50.0	△ 25.0	△ 20.0	△ 26.7
小売業	△ 15.7	△ 25.7	△ 44.1	△ 37.9	△ 32.3	△ 35.5
サービス業	△ 12.0	△ 32.0	△ 16.6	△ 16.0	△ 20.0	△ 8.0



3. 採算(経常利益)

全業種の DI 値は、△25. 6と前期(△30. 1)に比べ4. 5ポイントマイナス幅が縮小した。来期は、卸売業は好転するが、それ以外の業種では悪化する見通し。

経常利益DI(「好転」-「悪化」)				(前年同期比)		
	H25年			H26年	H26年	
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	来期予想
全業種	△ 25.6	△ 32.5	△ 33.8	△ 30.1	△ 25.6	△ 33.3
製造業	△ 41.7	△ 23.0	△ 33.3	△ 46.2	△ 25.0	△ 33.4
建設業	△ 10.0	△ 30.0	△ 20.0	△ 40.0	△ 20.0	△ 50.0
卸売業	△ 37.5	△ 53.4	△ 31.3	△ 31.3	△ 33.3	△ 28.6
小売業	△ 26.3	△ 44.1	△ 47.1	△ 37.9	△ 29.0	△ 33.4
サービス業	△ 20.0	△ 32.0	△ 21.7	△ 12.5	△ 16.6	△ 33.3

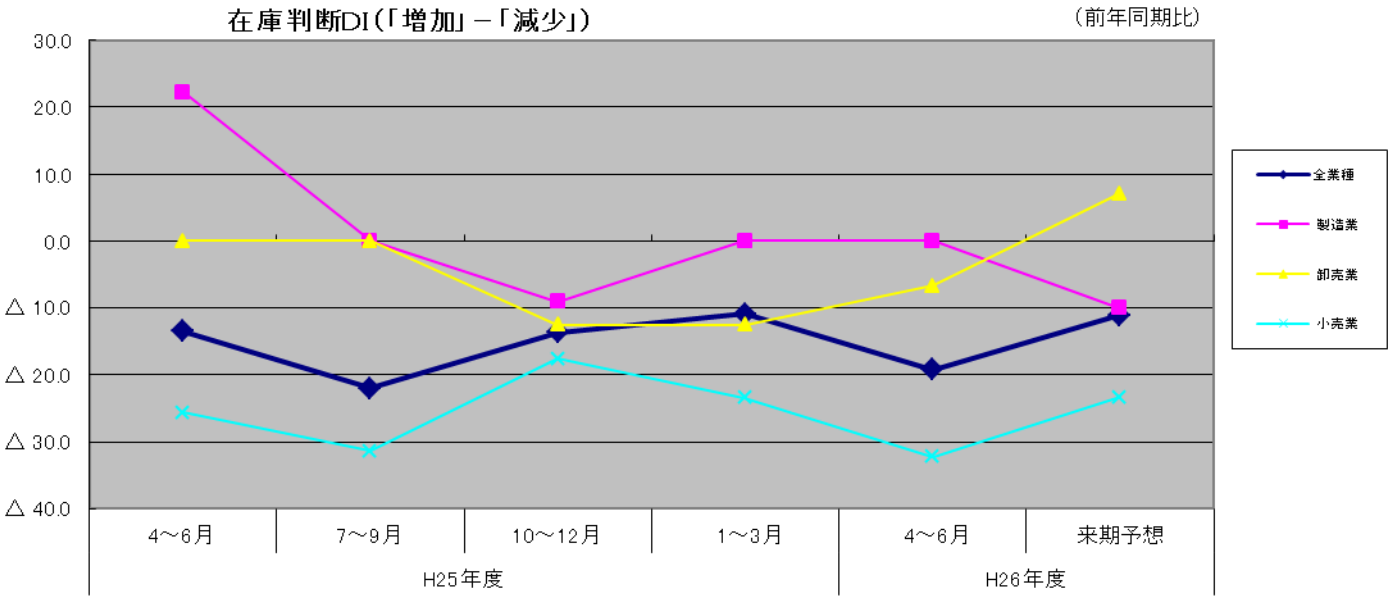


4. 製品・商品の在庫

全業種の DI 値は、△19. 2と前期(△10. 9)に比べマイナス幅が8. 3ポイント拡大した。

業種別では製造業でマイナス幅が拡大し、在庫がさらに不足する見通し。

在庫判断DI (「増加」-「減少」)					(前年同期比)	
	H25年度				H26年度	
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	来期予想
全業種	△ 13.5	△ 22.0	△ 13.7	△ 10.9	△ 19.2	△ 11.1
製造業	22.2	0.0	△ 9.1	0.0	0.0	△ 10.0
卸売業	0.0	0.0	△ 12.5	△ 12.5	△ 6.7	7.1
小売業	△ 25.6	△ 31.4	△ 17.6	△ 23.4	△ 32.2	△ 23.3

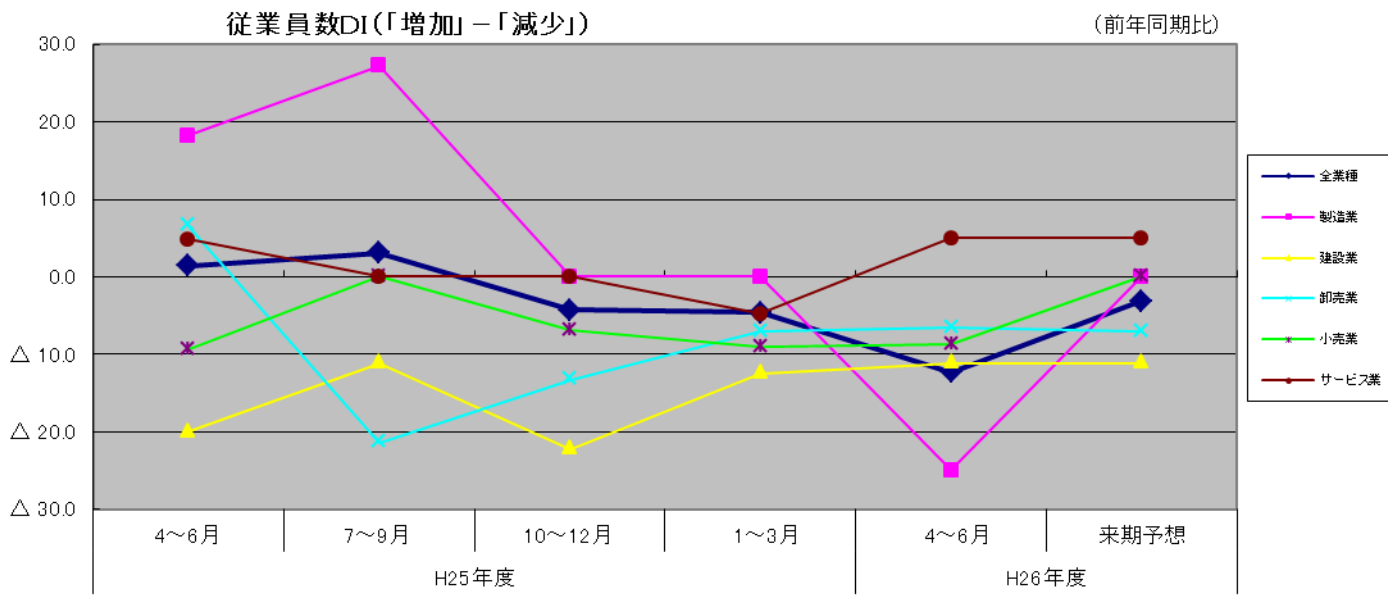


5. 従業員数 (臨時・パート含む)

全業種の DI 値は、△12. 3と前期(△4. 6)に比べマイナス幅が7. 7ポイント拡大した。来期はマイナス幅が縮小する見通し。

業種別では、製造業・サービス業でマイナス幅が増加しているが、建設業・卸売業・小売業では若干改善される見通し。

従業員数DI (「増加」-「減少」)					(前年同期比)	
	H25年度				H26年度	
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	来期予想
全業種	1.4	3.1	△ 4.3	△ 4.6	△ 12.3	△ 3.1
製造業	18.2	27.3	0.0	0.0	△ 25.0	0.0
建設業	△ 20.0	△ 11.1	△ 22.2	△ 12.5	△ 11.1	△ 11.1
卸売業	6.6	△ 21.4	△ 13.3	△ 7.1	△ 6.6	△ 7.1
小売業	△ 9.4	0.0	△ 6.9	△ 9.1	△ 8.7	0.0
サービス業	4.8	0.0	0.0	△ 4.8	5.0	5.0

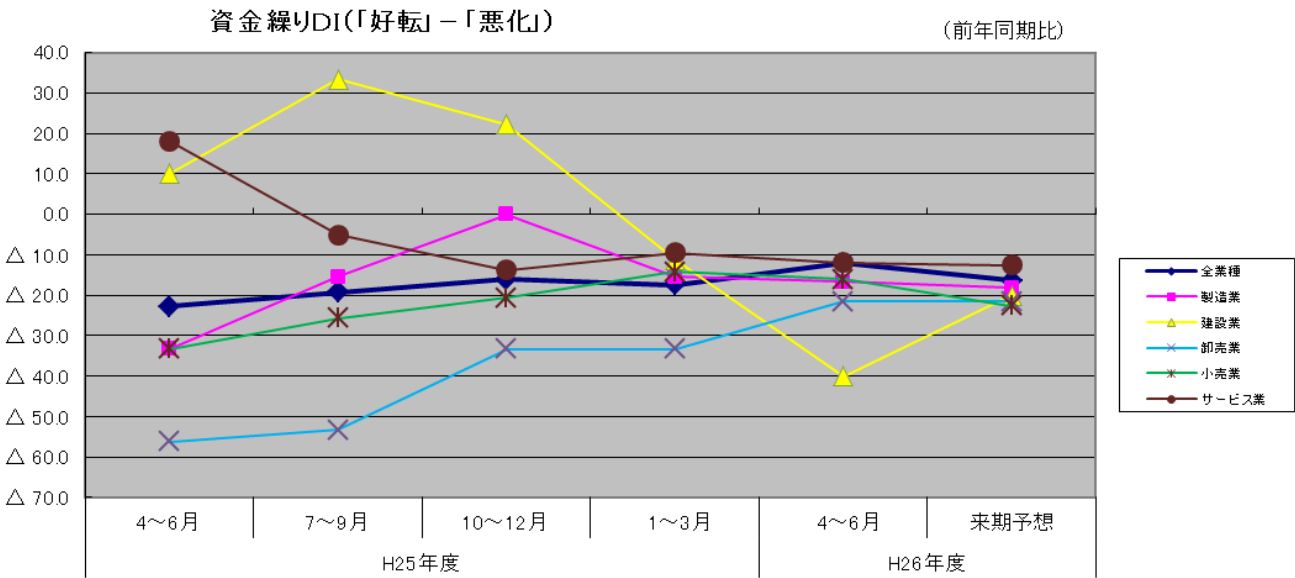


6. 資金繰り

全業種の DI 値は、△12. 1と前期(△17. 4)に比べ
5. 3ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別では建設業で大幅に悪化。来期で建設業は
改善が見込まれるが、その他ではマイナス幅が拡大す
る見通し。

	資金繰りDI(「好転」-「悪化」)				(前年同期比)	
	H25年度 4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	H26年度 4～6月	来期予想
全業種	△ 22.8	△ 19.2	△ 16.0	△ 17.4	△ 12.1	△ 16.4
製造業	△ 33.3	△ 15.4	0.0	△ 15.4	△ 16.7	△ 18.2
建設業	10.0	33.4	22.2	△ 11.1	△ 40.0	△ 20.0
卸売業	△ 56.3	△ 53.3	△ 33.3	△ 33.3	△ 21.5	△ 21.5
小売業	△ 33.3	△ 25.7	△ 20.6	△ 14.3	△ 16.1	△ 22.6
サービス業	18.2	△ 5.0	△ 13.7	△ 9.5	△ 12.0	△ 12.5



7. 経営上の問題点

前回まで、需要の停滞が上位を占めていたが4月からの消費税増税に伴い、原材料価格や仕入単価の上昇などが
3～4倍上がっている。 いまだに中間層の所得は伸びておらず、雇用などの動きも鈍い。依然と厳しい経済情勢が続い
ており、継続的な成長への手応えはまだまだ弱いと思われる。

	今期直面している経営上の問題点				
	1位 (%)	2位 (%)	3位 (%)	4位 (%)	5位 (%)
製造業	原材料価格の上昇	需要の停滞	製品単価の上昇難	新規参入業者の増加	原材料・人事費以外の増加
	21.7	21.7	17.4	8.7	8.7
建設業	材料価格の上昇	熟練技術者の確保難	請負単価の低下・上昇難	下請け単価の上昇	民間需要の停滞
	26.7	13.3	10.0	10.0	10.0
卸売業	仕入単価の上昇	需要の停滞	大企業進出競争の激化	販売単価の低下・上昇難	新規参入業者の増加
	20.0	17.1	11.4	8.6	5.7
小売業	消費者ニーズの変化	需要の停滞	購買力他地域への流出	店の狭さ・老朽化	同業者への進出
	22.4	15.8	13.2	9.2	6.6
サービス業	需要の停滞	利用者ニーズの変化	利用料金の低下・上昇難	新規参入業者の増加	材料仕入単価の上昇
	27.1	22.9	12.5	10.4	8.3